

# みんなで つくるまち 岸和田

自らの地域は自らの手でつくる——  
市民自治都市・岸和田では、  
文化芸術やスポーツ、子育て、  
福祉、防災・防犯など、さまざまな  
分野で市民主体の活動が  
盛んに行われています。

# 誰もがいきがいを 感じられるまち

文化芸術

スポーツ



### 岸和田市音楽団

昭和48年(1973)設立の吹奏楽団。マドカホールを拠点に、団員約50名が市内外のイベントで“市音”の音を響かせています。

### 創設時のメンバーから高校生まで団員は個性豊か。息の合った演奏で音楽の魅力を発信しています!

練習は週2回で実施  
11月に行われる定期演奏会の様子  
代表/丸谷 怜さん



## 市民によって育まれた 文化芸術をともに楽しむ場



メンバーで話し合い、高め合いながら取り組む練習の様子  
設立は平成17年(2005)。高校生から社会人まで約25名が参加  
マドカホールでの単独演奏会の様子



### 合唱団様

みんなと声を合わせてはじめて届けられるのが合唱です。団員の思いを重ねて、表現することを心がけています。  
代表/ 藤 和恵さん

### 合唱団様

岸和田市立桜台中学校のOBを主体に設立した合唱団。合唱曲からポップスまで、美しいメロディーとハーモニーを演奏会で披露しています。

### 多世代が参加する 盛んな文化芸術活動

戦後間もない昭和24年(1949)から市民参加型の「岸和田市文化祭」が開催され、その翌年には公募展の「市展」が始まるなど、岸和田市は文化芸術活動が盛んなまち。現在も浪切ホールやマドカホール(岸和田市立文化会館)、自泉会館をはじめ、各地域の公民館などを拠点に、市民が主体となって結成した各団体が精力的に活動しています。音楽や演劇、絵画など、同じ志を持って多世代が自主的に集い、交流し、その成果を発表する取り組みは、ひとりひとりのいきがいと心の豊かさに繋がっています。

### Column

#### 次代に繋げる 市民主体の文化芸術活動

岸和田市はだんじり祭が象徴するように、地域や市民同士の繋がりが強いまちです。さまざまな分野の文化芸術活動においても、地域文化の担い手として市民が自主的に取り組んできました。マドカホールは構想・設計の段階から市民が参画し、自泉会館は市民文化団体である私たち岸和田文化事業協会が運営。この「岸和田方式」と呼ばれる全国的に高い評価を集めた公共ホール運営は、市民主体の文化芸術活動のさらなる発展の礎となっています。

最近では「自泉ジュニアコンサート」を登壇に羽ばたいた若い世代を、協会が演奏家として自立できるように積極的に支援するなど、この地で育まれてきた地域文化を次代に繋げる取り組みも行われています。

岸和田文化事業協会  
会長/齊藤恵子さん

### Special Interview

# 塩田千春さん

SHIOTA CHI HARU

記憶の糸を紡ぎ、誰かの心に残したい

### 自泉会館や美家の部屋、 すべて記憶が詰まった宝物

岸和田を離れてからずいぶん経ちますが、岸和田の美家には私の部屋がまだ残っていて、高校卒業まで使っていた机があります。幼いころの私は「ごく普通の少女でしたが、近隣に絵画教室があり、そこへ通ううちに絵描きになりたいという夢を持ちました。成長するにつれ心の居場所を求めてさまよい、葛藤しつつ過ごしました。私の基層的な感覚の多くはここ岸和田で育まれたものです。

### 土地や暮らしを、記憶の糸で表現 「不在のなかの存在」と呼ばれる作品

令和4年(2022)5月現在、ドイツのベルリンに住んでいますが、ロシアのウクライナ侵攻で、家族・友人、地縁もないなか、大勢の難民がポーランドを経由して、ベルリン中央駅に集まりました。ドイツのボランティアが難民を受け入れ、歓迎する光景が印象に残っています。家族や土地を分断される事態は決して許されるものではないで

すが、一時的な避難場所として選ばれたドイツの地で新しい繋がりが増えることになりました。繋がりが合う人々の記憶を糸に例えると、それは複雑に絡み合い、そして、忘れることのできない思いの強さも個人や家族さまざまに存在します。

椅子があれば、座る人を想像することができるように、旅行かばんや、おもちゃの家、鍵なども誰かの記憶の糸が絡まっている…。個人の持ち物でなく、家族や地域の関係性が強い「家」ならなおさらです。私の作品を「不在のなかの存在」と言う方がいますが、それは土地や暮らしなどに宿る記憶という存在感を糸で紡いで表現した作品だからだと思っております。

このすばらしい建築の自泉会館もそうですが、岸和田には多くの人の記憶の詰まった宝物があります。著名な建築構造物はもちろん、自宅にある当たり前の家具などもまた、どうぞ皆さん、永く愛着をもって欲しいのです。  
市制施行100周年記念事業として開催された



永く愛着を持ち続けて欲しい  
岸和田にある、多くの記憶が  
詰まった宝物たち。

撮影ロケ地：自泉会館

### Profile 塩田千春さん(しおたちはる)

昭和47年(1972)生まれ。岸和田市出身、ベルリン在住。平成27年(2015)第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館代表作家として選出後、ニューヨーク彫刻公園、K21-ノルトライン・ヴェストファーレン州立美術館ほかでの個展、シドニー・ビエンナーレ、キエフ国際現代美術ビエンナーレなどの国際展にも多数参加。

令和4年(2022)に開催された自泉会館の個展では、制作アシスタントとして岸和田在住・在勤の7人が参加。会期中は35人がスタッフとして盛り上げた



# みんなで つくるまち 岸和田

さまざまなジャンルの  
ダンスレッスンを開催



生涯スポーツや地域に根ざした  
スポーツイベントに力を入れる

サッカーはジュニアから  
トップチームまで世代別に活動



スポーツを通して地域に  
貢献するとともに、地域  
で暮らす市民が応援した  
くなるクラブづくり  
をめざしています。  
代表理事／  
松田篤人さん

## NPO法人スポーツ クラブディアマンテ

学校での部活動が中心のスポーツ  
を地域で支えることをめざして平成  
11年(1999)に設立。指導者・ス  
タッフ約40名がさまざまなスポー  
ツにふれる機会を提供しています。

## 特色あるスポーツ施設

市内には公共施設だけではなく  
話題の種目が楽しめるスポットも。  
スポーツの裾野を広げています。

### カンカンウォール



海沿いにある幅約8m・高さ約15mの  
クライミングウォール。最大斜度135度  
の本格的なリード壁と国際基準のスピー  
ド壁の2面を備えています。

### サイクルピア岸和田 BMXコース



公式レースも開催できる本格的なBMX  
コース。自転車・ヘルメット・肘当ての  
レンタルなど無料で利用できます(別途  
スポーツ安全保険料が必要)。



40代以上の社会人もサッカーに参加

ヨーロッパのように地域ぐる  
みでスポーツを身近に感  
じてもらえる場所  
づくりを岸和田で  
実践しています。  
理事長／  
河内賢一さん

## NPO法人FC岸和田

「スポーツで地域の人々を幸せ  
に」がミッション。サッカーを中  
心に、ヨガやフラダンス、小中  
学生に人気のダンスなどの種目  
を展開しています。

## スポーツを通じた 地域づくり 「総合型地域スポーツクラブ」

多世代・多種目をキーワードに、  
身近な地域で誰もがスポーツを楽し  
める「総合型地域スポーツクラブ」が  
平成7年(1995)に国により提唱  
されました。岸和田市ではスポーツ  
クラブディアマンテ「FC岸和田」の  
2団体が総合型地域スポーツクラブ  
として活動。子どもから社会人、シ  
ニアまで、幅広い世代の市民が参加  
し、新たな地域コミュニティの役割を  
果たしています。サッカー、ダンス  
ヨガ、体操、フラダンスといった各種  
目の練習やレッスンを、クラブハウス  
や学校グラウンドなどの公共施設も  
活用して実施しています。

## 身近な市民スポーツの機会が育む 活力といきがい

### 誰もが享受できるまち 「パラスポーツ」

#### 車いすバスケットボール B-spirits

岸和田を拠点に近隣地域からもメンバーが参  
加。経験豊富な代表・諸限さんを中心に、初  
心者から経験者まで楽しく汗を流しています。

岸和田で誕生して40年以上。全国大会  
にも出場しました。現在はこのスポーツを  
愛するメンバーが集まったチームです。  
代表／諸限有一さん



笑い声が絶えな  
い練習の風景。  
障害がある人も  
ない人もチーム  
のメンバー

#### フライングディスク

岸和田市では市主催のフライングディスク記録会を  
開催。岸和田市立福祉総合センターでは記録会に向  
け、指導員による定期的な練習も行われています。

視覚に障害があっても的の通過を音  
で知らせるなど、誰もが楽しく練習で  
きる工夫をして取り組んでいます。  
指導員／東 暁さん

フライングディスクを的に通すアキュラシーの練習



## 岸和田を代表するアスリートのひとり

### Special Interview

# 原田海さん

H A R A D A  
K A I

「やりたいことをやればいい」  
そう教えてくれた母に  
いつも感謝しています。

**Profile** 原田 海さん (はらだ かい)

平成11年(1999)生まれ。岸和田市出身。平成30年(2018)に19歳でIFSCクライミング世界選手権ボルダリング部門優勝。令和2年(2020)にはボルダリングジャパンカップ優勝。東京2020オリンピックのフリークライミング日本代表。現在は東京でひとり暮らし。栄養補給には人一倍気を配っている…つもりとか。

小さいころの思い出はだんじり(藤井町)、陸上、サッカー、それだけでなく、遊び場はカンカン、中央公園、ラパーク…。総じて活発な方でしたね。スポーツクライミングは小学5年生のある日、いつもアクティブな活動を最優先ですめてくれる母が、八阪町のクライミングジムを見つけてくれました。初めての体験で課題目の前には壁を自身の身体でクリアする喜びを知ったんです。「やりたいことをやれと、僕は母に言われ育ちました。そのジムのお兄さん、お父さん世代の岸和田の人たちからは「やる気がある子だ」と大切に、優しくサポートしてもらいました。高校ぐらいから海外遠征を始めるんですけど、すごくお金が必要でした。母ひとり、子ひとりの家庭です。だから全面的に支えてくれた母に心から感謝しています。東京2020オリンピック以降、メディア露出も増え、スポーツクライミングの知名度が上がり施設も増えたけれど、欧米に比べるとまだまだ足りない

野外でのフリークライミングも楽しいけれど、スポーツクライミングは少し違います。規制レギュレーションがあるから。その課題ともいえる「壁」が、いきなり眼前にそびえ立ちます。こんな人工的な非日常はほかにありません。選手たちは想像力と体力すべてを総動員して、限られた時間内で課題にかかります。ボルダリング、リード、スピードと3種目あるなかでスピード以外はスタート直前に「壁を見せられる。国籍、言語、世代の異なる選手がその攻略法を短時間で考え、共有する。スポーツクライミングのおもしろさのひとつはこういう側面もありますね。スケートボード、BMXなどと同じようにパフォーマンスを見せて、個人競技として結果的に得点は付くけれど、ライバルと競い合っているのではないんです。世界の選手たちのテクニックがYouTubeなどで公開・共有される今、こういった情報発信は選手の義務だと思ふ。競技の認知度を高め、ファンが増えるように自分も動画配信をしています。将来的には、そういったネットメディアの仕事に就ければと希望しています。この先も日本代表として活躍して、多くの人に見ていただいで、スポーツをきっかけに未来を活気あふれるものになりたい。若い世代の人たちには「何も考えな、やりたいことをやればいい」と伝えたいです。



スポーツクライミングでの得意種目はボルダリング。リードと同じく選手同士の計画を知ることがカギになってくる

撮影ロケ地・B-PUMP狭店

# 岸和田の子どもたち

みんなで  
つくるまち  
岸和田

# 夢を追いかける

子どもや学生を、まち全体で応援しています。

羽ばたけ、岸和田から世界へ——岸和田では学校や地域クラブ活動で、合唱や演劇、多種多様なスポーツなどが活発に行われており、夢に向かって全力で取り組む

## 女子ソフトボール岸和田jrクラブ

平成25年(2013)発足。市内小学校から選ばれた小学4~6年生によるチームは全国大会にも出場し、平成27・30年(2015・2018)には優勝を勝ち取りました。選手はもちろん、監督、コーチ、保護者が一丸となって活動しています。



## 岸和田市立産業高等学校アーチェリー部

創部から60年以上の歴史をもち、オリンピックチーム監督経験者や元オリンピック出場選手が顧問・コーチとして指導。初めてアーチェリーに取り組む部員も多い中、男女ともにインターハイで活躍するなど輝かしい成績を収めています。



## ドゥールース エリートチーム

NPO法人ドゥールースは日本輪船選手会大阪支部が自転車と自転車競技の情報発信地として設立。サイクルピア岸和田BMXコースを拠点にBMX教室などを開催しています。レース参戦に向けて本格的な練習に取り組むエリートチームの中には、日本を代表して世界で活躍するメンバーも在籍しています。



## 大阪府立久米田高等学校ダンス部

大会などで数々の受賞歴を誇り、全国にもその名が知られています。日々の練習の成果によるチームワークが圧倒的なパフォーマンスに。地域の協力のもと、「だんじり」をテーマにしたダンスも披露し、令和4年(2022)8月に行われた第15回日本高校ダンス部選手権全国大会ビッグクラス部門で初優勝に輝きました。



## マドカドラマスクール

平成11年(1999)創立。マドカホールを拠点に小学3年生から大学生までが演劇活動に取り組んでいます。プロの演出家・脚本家の指導のもと、豊かな表現力やチームワークを育み、定期公演と岸和田市文化祭での公演で練習の成果を発表しています。



## 右門道場

古くから岸和田にある相撲の伝統を受け継ぎ、昭和54年(1979)に市相撲連盟の会長・和右門門さんが道場を創設。未就学児から高校生まで多くの若者が門を叩き、道場での修練を積んだ後、大学相撲や角界で活躍しています。



## 岸和田市 少年少女合唱団

昭和63年(1988)創立。市内在住で10~18歳の少年少女たちが、マドカホールでプロの音楽家による指導を受けています。市内内外での演奏会をはじめ、4年に一度をめぐりに、スペインなどで海外公演も実施。プロ音楽家として活躍する卒業生もいます。



## 岸和田 リトルリーグ

昭和49年(1974)発足。岸和田市や忠岡町の小学生たちによる少年硬式野球チームで、これまでにプロ野球選手や高校・大学・社会人野球で活躍する選手を輩出。専用グラウンドで今日も白球を追っています。



## 市民の身近にある 子育て支援と交流の場

岸和田市では、市や民間の子育て支援センターをはじめ、NPO団体や市内各地の子育てサロンが子育て家族を支えています。

### 岸和田市立子育て支援センター さくらだい

出産前の妊婦や子育て中の保護者が気軽に利用できる場所で、室内で子どもが遊べる「自由来館さくら」「べんぎんひろば」などを開催。子育て相談も実施しています。



「施設を利用することで子育てが楽しくできるようになった」と話す人も。育児のことなら何でも相談できます。

所長 / 松永早苗さん



### 岸和田地域子育て支援センター

乳幼児を育てる保護者やその家族を対象に、保育の経験を生かした子育て支援事業を展開。七夕やクリスマスなどの季節の行事や園庭開放にはたくさんの親子が参加しています。



パパ・ママの育児力アップのために、弁護士や医師、助産師、薬剤師、管理栄養士などによる講座も開催しています！

所長 / 塩谷まさ子さん



### NPO法人ここからKit

子どもや育児中の保護者が気軽に立ち寄れる親子ひろばや、子育て世代を巻き込んだイベントなどを開催。子どもとその保護者同士の繋がりが深まる居場所を提供しています。



子育て世代への防災情報の発信など、子育て中の保護者目線に立った幅広い活動に取り組んでいます。

代表理事 / 長谷川秀美さん



## みんなが輝くまちをめざす教育で 学び意欲にこたえる

### ICT教育

児童生徒ひとり1台配布される学習者用端末を、ひとりひとりの個別学習や一斉学習、情報活用能力を身につける学習などに活用しています。



ICTを活用することで、よりよい授業づくりをめざす

### 未来へ羽ばたく 子どもたちをサポート 充実する教育環境

岸和田市では教育の基本理念に掲げる「知・徳・体・調和のとれた人づくり」を踏まえ、教育重点施策を毎年策定し、「みんなが輝くまち」の実現を目標にしています。小中学校の学校教育においては、確かな学力の定着だけでなく、児童生徒ひとりひとりの生徒指導上の課題に対応した取組みを実施。またICT(情報通信技術)の有効活用や外国語指導助手(ALT)の派遣など、時代のニーズに合わせた教育環境の整備にも取り組んでいます。加えて、児童生徒の学習意欲や思考力・判断力・表現力・言語能力を高めるため、市立図書館と連携しながら読書に親しむ場の創出も図っています。



英語を聞く・話す機会が増えることで、より生きた英語が身につくように



### 外国語教育

全小中学校にネイティブの外国語指導助手(ALT)を派遣。子どもたちが生きた英語にふれる機会を増やすことで、英語教育を充実させています。

### 読書活動の充実

全小中学校に学校司書を週2回配置。読み聞かせやブックトークなどの読書活動を行っているほか、蔵書の充実や整備にも取り組んでいます。

学校司書が各校で活躍



## 学び、繋がり、支え合う

子育て支援センターさくらだいは長女のお気に入りの場所

## みんなで育む岸和田での子育て



### Interview

#### 出産後は市内各地の子育てイベントに積極参加

長女を妊娠・出産した時期は、コロナ禍もあり外出の機会が限られる状況でしたが、出産予定の産婦人科での両親学級などに参加。そこで得た知識や、医師や看護師、助産師、周りの妊婦さんとの相談により、大きな不安を抱えることなく初めての出産を迎えることができました。出産後は岸和田市の広報やホームページを活用して、どこでどんな子育てイベントを開催しているのかを調べ、「子育て支援センターさくらだい」や「岸和田地域子育て支援センター」、各地域の「子育てサロン」などに足を運んでいます。スタッフの方々はもちろん、同じ子育ての悩みを抱えるママ友と話すことで、よい意味での気分転換になっています。長女もいろいろな場所に行き手遊びやリズム遊びに参加することが楽しいようです。

市内在住のご家族に、岸和田での子育てについてお話を伺いました。



〇さん家族  
夫(31) 小学校教諭  
妻(31) 幼稚園教諭  
長女(2)



週末は家族3人で公園や川沿いの道を散歩

#### 地域ぐるみで支えてくれる岸和田らしい子育て環境

岸和田で子育てをする中で一番感じているのは、「一人で頑張らなくていい」と。子育て世帯をサポートしてくれる場所・機会がたくさんあり、参加したり相談したりすることで、悩みを抱え込むことなく、心が軽くなります。地域の高齢者の方々も私たち家族を優しく見守ってくださり、ときには「これ持っていき」と収穫したばかりの野菜をもらうことも。岸和田らしいですね(笑)。地域ぐるみで支えてくれるからこそ、安心して子育てができます。そんな岸和田のまちで、長女がのびのび育つてくれるのを楽しみにしています。

子育て情報はホームページや「広報さわかた」を活用しています



私たちが参加しました!



### Pick Up!

長女の育児をしながら、〇さん家族は市内で行われているさまざまな施設の子育てイベントに参加しています。



みんなで  
つくるまち  
岸和田

子どもたちが  
健やかに育つまち

子育て

教育

# 防災への取り組みを通して 「自助・共助・公助」の意識を高める

近年、日本各地で地震や台風などによる災害が発生しており、岸和田市では平成29・30年(2017・2018)の台風が大きな爪痕を残しました。大規模自然災害の被害を最小限にするためには、ひとりひとりの「自助・共助の意識」と「公助との連携」、そして市民や事業者、ボランティアが一体となって災害に立ち向かう「災害対応力」を高めることが大切です。岸和田市では、岸和田市消防団や水防団、婦人防火クラブなどが参加する「総合防災訓練」を毎年実施。実践的な訓練を行っています。また、日頃から災害に備えるために「総合防災マップ」を全戸配布しています。

**大規模自然災害による被害拡大を防ぐために「防災訓練」**



**総合防災訓練**  
市の消防本部や警察、自衛隊をはじめ、地域防災団体が参加。被災地の情報収集や被災者の捜索、クレーンを使った交通救助、医療救助活動、水防団による水防工法など、巨大地震発生を想定した訓練を行っています。



**災害対策本部設置・初動対策設置訓練**  
迫り来る風水害に対して迅速に行動するため、市職員、消防本部などが参加。災害時の司令塔となる災害対策本部の設置や警戒レベルに合わせた初動対策の実践的なシミュレーションを行っています。



## Pick Up! まちを守る地域防災の担い手

地域のことを自らの手で守るため、各団体が災害に立ち向かう技術を高めています。

### 岸和田市消防団

山手の大沢分団(大沢町)と葛城上分団(相川町・塔原町)の2つの分団に30名の団員が所属。平成29年(2017)台風21号での活動では、平成30年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞。



第62回大阪府消防操法訓練大会に出場



S-KYT(消防団危険予知訓練)の様子

災害の最前線で地域住民を守るのが私たちの使命。管轄内のパトロールや災害対応訓練などを行っています。  
団長/椎木康宏さん

### 岸和田市水防団

第1~5分団まで各60名、本団役員を含む総勢310名で構成。結成以来60年以上にわたって堤防や河川の決壊などを防ぐ水防活動に従事。市民の生命と財産を守る活動に取り組んでいます。



総合防災訓練での架橋工の様子



津波、高潮に備えて水門操作訓練を実施

水防の基本である「積み土のう工」や救助活動などの技術を団員同士で高め合い、日々災害に備えています。  
団長/植田 功さん



**過去に発生した自然災害を教訓に**  
岸和田市では、これまでも想定を超える規模の自然災害が発生し、大きな被害を受けました。全戸配布されている「総合防災マップ」では、市内で発生が想定される地震や津波、洪水、土砂災害、高潮のハザードマップを掲載。市民ひとりひとりの日頃の備え、万が一の時の災害対応に活用できるよう努めています。

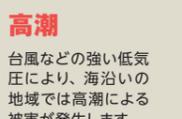
### 市内で想定される災害



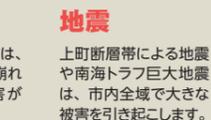
**土砂災害**  
山やがけ地では、大雨によるがけ崩れなどの土砂災害が発生します。



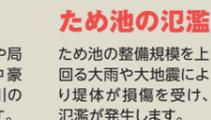
**洪水**  
台風による大雨や局地的大雨、集中豪雨などにより河川の氾濫が発生します。



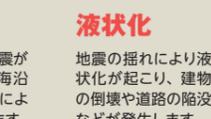
**津波**  
南海トラフ巨大地震が発生した場合、海沿いの地域で津波による被害が発生します。



**地震**  
上町断層帯による地震や南海トラフ巨大地震は、市内全域で大きな被害を引き起こします。



**ため池の氾濫**  
ため池の整備規模を上回る大雨や大地震により堤体が損傷を受け、氾濫が発生します。



**液状化**  
地震の揺れにより液状化が起こり、建物の倒壊や道路の陥没などが発生します。

## よりよい地域を自らの手でつくる 市民ボランティアが幅広く活動

地域で暮らす子どもたちのためにも、美しいまちを守り、次代に残していきたいと思って活動しています。  
大海行雄さん

近隣にある工場周辺の植栽の手入れも行う



市民の財産である道路などの公共の場で、タバコや空き缶のポイ捨てにより美観が損なわれていることが社会問題となっており、岸和田市では「岸和田市きれいなまちづくり条例」を施行し、「きれいなまち岸和田」の実現を推進。また、市民や市民団体による自主的な活動として、「まちを美しくする市民運動協議会」を中心にボランティアによる清掃活動が積極的に行われています。磯上町の大海行雄さんは市の清掃活動の呼びかけに参加して以来、15年以上ほぼ毎日、ごみ拾いや緑化運動に取り組む、令和3年度には善行者表彰を受けました。

「まちがキレイだと心もキレイになります」と大海さん



町会などボランティアによる清掃活動の様子(写真は野田町)

### 域内地区街頭犯罪発生件数の推移

年	平成21年(2009)	平成24年(2012)	平成27年(2015)	平成30年(2018)	令和3年(2021)
ひったくり	4	1	3	0	0
自転車盗	30	11	17	19	14
自動車盗	2	3	3	1	0
車上狙い	16	11	6	0	6
オートバイ盗	9	15	4	10	1
計	61(100%)	41(67%)	33(54%)	30(49%)	21(34%)

出典：大阪府警察本部安まちアーカイブより  
※パーセンテージは平成21年(2009)の犯罪発生件数の合計を100%としたもの

### 青色防犯パトロール活動

市内でいち早くパトロール車両を用いた防犯活動を開始。ベスト・帽子を着用したボランティアが2人組で乗車し、地域を巡回しています。同協議会では朝夕の児童見守りにも取り組むなど、地域に大きな安心感を与えています。



協議会会員や地域住民が積極的に参加

私たちの活動が市内に広がり、各地域の「安心して暮らせるまちづくり」に少しでも貢献できればうれしいです。  
域内地区市民協議会防犯委員 / 大野国晴さん



安全・安心が実感できる  
美しいまち  
防犯・防災  
美化活動

**Pick Up!** 制度の隙間をカバーする市民団体やNPO法人が活動しています

**NPO法人自立生活センター いこらー**

障害当事者によるピアカウンセリングや登山、だんじり祭見物ツアーなどを通して障害者の自立と社会参加を支援しています。

障害者の自立生活活動を泉州地域に広げ、誰もが自分らしい生活を実現できる地域づくりをめざします。  
代表 / 東谷 太さん

**ふれあいリビング ほしがおか**

府営荒木住宅の高齢者を中心に、世代を超えた居場所づくりに従事。ふれあい喫茶や朝市、子ども食堂など幅広い活動を行っています。

各活動が高齢者の引きこもり防止や母子家庭の支援に、「地域にこんなものがあれば…」を今後も実現します！  
代表 / 原口正彰さん

**NPO法人草の根福祉**

岸和田駅前通商店街を拠点に、電球の取り替えや清掃など、地域の高齢者や障害のある人のちょっとした困り事から支援しています。

相談に来た方の人生が今より豊かになるように、小さな悩みにも耳を傾け、笑顔で帰れるようサポートしています。  
理事 / 植野高志さん

**日本語サロン**

岸和田市国際親善協会が主催。岸和田市やその周辺で生活する外国人を対象とした日本語の学習支援を市内5カ所です定期的に開催しています。

参加者の個々のニーズに合わせて、日常会話や日本語能力試験の学習を支援。在住外国人のコミュニティにもなっています。  
岸和田市国際親善協会事務局長 / 西村令子さん

**互いを尊重する 差別のない社会をめざして**

だんじり祭に代表される各町内の絆の強さを、人権意識を高めることに繋げていきたいと思ひます。  
右：会長 / 杉原俊次さん(町会連合会)

差別による悩みをひとりでは抱え込むことなく、誰もがいつでも気軽に相談できる環境を整えていきます。  
中：副会長 / 高松弘子さん(人権擁護委員)

職場でのハラスメント対策の早期徹底のために、気づきの機会を設け、解決の具体案を企業間で共有していきます。  
左：副会長 / 辻坂徳啓さん(岸和田市人権啓発企業連絡会)

**市民や企業が参加して 人権啓発に取り組む**  
〔岸和田市人権協会〕  
岸和田市は平成17年(2005)に「岸和田市人権尊重のまちづくり条例」を施行し、すべての人権が尊重される豊かなまちづくりの実現をめざして、教育委員会や各団体とともに研修や啓発活動を積極的に実施しています。その中核を担う「岸和田市人権協会は校区連合町会や岸和田市人権啓発企業連絡会、人権擁護委員など31団体で構成されています。近年ではSNSやインターネット上の中傷、ハラスメント、性的マイノリティへの差別といった新たな人権問題が生じるなか、さまざまな角度から人権尊重の意識を高める取組みを行っています。

これからのまちづくりを担う若い世代の市民にも、男女平等に関する問題を意識してもらえるように取り組んでいきます。  
右：代表 / 馬場由美子さん

言動を意識するだけでも男女の不平等は大きく改善します。そんな気づきの機会を設けることが私たちの役割です。  
中：代表 / 中川麗子さん

6つの部会活動のほか、広報活動のひとつ「かしまし座」では公民館などで寸劇を披露。男女平等に関する問題をわかりやすく伝えていきます。  
左：代表 / 熊取あみさん

市制施行100周年記念事業の一環として開催された「さしわだ男女共同参画フォーラム」にもパネリストとして中川麗子さんが登場しました



**校区別人権問題研修会「なるほど！人権セミナー」**

市民が気軽に人権について考え、意識を高める取組みとして、毎年10~11月に市内20カ所で行う人権問題についての研修を開催しています。

**「岸和田女性会議」**  
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」といった固定的性別役割分担意識は、時代とともに変わりながらも根深く残り、家庭や職場などでのさまざまな分野における男女共同参画の障害要因となっています。「岸和田女性会議」は誰もが性別にとらわれないこと、自分らしい生き方を本音で語り合える場として昭和63年(1988)に結成。男女平等の実現に向けて、さまざまなテーマでの講演会を開催しているほか、日常生活の中の男女平等に関する問題をオリジナルの寸劇やジェンダー川柳などで表現し、啓発活動に取り組んでいます。



**誰もが健やかに 暮らし続けられる地域づくり**

この場所で元気をもらって参加者も多いですよ



**いきいき百歳体操**  
手足につけた重りで負荷をかけ、足腰の筋力を向上させる高知市発祥の介護予防体操。岸和田市では平成26年(2014)から取り入れ、現在は市内120以上の町会館や集会所で定期的に開催されています。  
近年は高齢者が健康上の問題で制限されることなく日常生活ができる期間である「健康寿命」が注目され、要介護状態の発生を防ぎ、また悪化をできる限り遅らせて軽減をめざすための介護予防の取組みが全国各地で進んでいます。岸和田市ではそうした取組みの一つとして、「いきいき百歳体操」がみかみ百歳体操を住民主体で開催。地域の町会館などの身近な場所で行われる体操や交流が、地域で暮らし続ける高齢者の介護予防や認知症予防に繋がっています。

継続が何より大切！近隣の人に参加の呼びかけもしています



高齢者が楽しみながら参加し続けている東ヶ丘町町会館でのいきいき百歳体操の様子

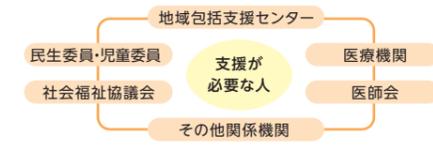
90歳を超えても毎回参加しています！



いきいき百歳体操は1回30分、椅子に座った状態でもできる運動で、テレビ岸和田や動画サイトでも配信しています。このほか高齢者の関心が高い認知症予防や低栄養予防などの「フレッシュらいふ教室」も開催しています。  
岸和田市介護保険課職員 / 市村真雅

**支援が必要な人をサポートする地域ネットワーク**

岸和田市では高齢者や障害のある人、ひとり親家庭など、支援を必要とする市民が安心して暮らせるように、行政、社会福祉協議会、医療機関、医師会、民生委員・児童委員などによるネットワークが作られています。市内6カ所設置の地域包括支援センターや障害者委託相談支援事業所、市内11カ所に配置されたコミュニティソーシャルワーカー(総合生活相談員)は身近な相談窓口。適切な支援を継続的に行うために、専門機関と連携して困り事に対応しています。



平成29年(2017)に竣工・開館



**岸和田市立福祉総合センター**  
「岸和田市立福祉総合センター」「岸和田市立総合通園センター」「市民活動サポートセンター」などの機能を持つ複合施設です。地域福祉の向上を担う拠点施設として、市民の多様化するニーズにこたえています。

昭和11年(1936)から地域の医療を担う



**岸和田市立市民病院**

大阪府「地域医療支援病院」の承認を受けている、泉州地域の基幹病院です。地域の医療機関や介護施設、行政などと連携を図りながら、患者の入院から退院・転院、その後のケアまで、地域生活への早期復帰を支えています。

**みんながみんなを大切にするまち**

福祉

人権

みんなで つくるまち 岸和田

みんなで  
つくるまち  
岸和田

# 地域の特色を生かした 魅力あるまち

区画整理

景観保全

「まちを自分たちでよりよくしたい」という思いで協議会の活動に参加しています。子どもたちが愛着を持ってくれるようなまちにしていきたいですね。

岸の丘町会長・まちづくり協議会居住者部会長／井阪太一さん



住宅地区は電柱・電線のない環境を実現



## 未来を見据えた 新しいまちづくり



周辺の農地での収穫体験の様子



地元の小学生と行っている茶畑づくり

地域の人が主体となって自然と活力があふれるまちへ

「ゆめみヶ丘岸和田」

岸和田市の丘陵地区では、都市・農・自然が一体となった「ゆめみヶ丘岸和田」のまちづくりが進んでいます。約160ヘクタールの土地を住宅や商店、農地、工場などのエリアに分け、住宅地区には市内初の景観協定に基づき建築された住宅が並び、市内外から多くの人が移住しています。居住者や企業、農家などで構成される「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」が中心となって、収穫体験や茶畑づくりといった、農業と身近にふれあえる体験などが催されたりするなど、関わる誰もがキープレイヤーとなって、持続可能な新しいまちづくりを行っています。

会員約80名が一体となって、住民が誇りと愛着を持てるまちづくりを行い、訪れる人にも感動を与えるようなまちの魅力を発信していきます！  
代表／吉野保次さん



まちなみ自体が貴重な文化遺産でもある本町地区



会員による板塀プロジェクトの工事の様子

## 岸和田らしい景観を 次代へ残すために

守るだけではなく  
育てて繋げる活動を  
「本町のまちづくりを考える会」

岸和田市の西側に位置する本町地区は、紀州街道沿道に数多くの歴史的建築物が並び、城下町の趣を残しています。「本町のまちづくりを考える会」はこの歴史的なまちなみの保全と魅力あるまちづくりを目的に、平成6年（1994）に設立されました。本町住民が主体となり、トタンやブロック塀を板塀で覆う「板塀プロジェクト」や「案内板プロジェクト」といった手作りの活動に取り組み、周囲の景観に合わせた建物の修繕を行っています。また、4月に開催し多くの出店が軒を連ねる「紀州街道にぎわい市」などのイベントを通して、まちの賑わいも創出しています。

（写真左）9月祭礼では本町をだんじりが駆け抜ける

（写真右）平成9年（1997）から開催されている紀州街道にぎわい市



# 豊かな自然があふれるまち

環境保全

緑化活動



令和5年（2023）に国の天然記念物指定100年を迎える和泉葛城山のブナ林

## 市民の思いにこたえて始まった 神於山の里山保全活動

「神於山保全活用推進協議会」

春木川の源流を有し「神が於わす山」として信仰の対象となっていた神於山人里に近く、昭和30年（1955）頃までは美しい里山が維持されてきましたが、その後、人が入らなくなった結果、竹林が拡大し、ごみの不法投棄などで荒廃が進みました。平成10年（1998）当時、市民の里山保全に対する気運が高まる中、岸和田市は神於山保全プロジェクトを推進。その第一歩として里山ボランティア育成入門講座を開催。修了生が中心となり、ごみの撤去や竹の伐採などの活動が始まりました。里山保全の動きは大きく広がり、平成15年（2003）に神於山保全活用推進協議会を設置。町会や行政、企業、NPO団体など現在40団体が参加し、「里山の再生」に向けたさまざまな取組が行われています。



活動日は山に入ってネザサ刈りや下草刈りなども

## NPO法人神於山保全くらぶ

「里山ボランティア育成入門講座」修了生が中心となって結成。現在約100名が参加し、下草刈りや竹林管理をはじめ、生き物や植生の調査、かつて行われていた炭焼などの活動に従事。地元小学生の環境学習にも協力しています。



伐採した竹で作ったアスレチックや探検コースを用意するなど、子どもが楽しみながら里山の自然とふれあえる取組みも実施しています。  
事務局長／田口雅士さん

## 市民の手により進む 都市緑化活動

### 花いっぱい推進プロジェクト

主に岸和田駅山側沿道活動を活動区域に岸和田市立東光小学校の子どもたちが協議会会員と一緒に植えたパンジーやピオラ、葉牡丹などの鉢花を地域の市民や事業者に配り、育ててもらふことで、まちに花々の彩りを加えています。

世代を超えた景観づくりを展開

### Pick Up! ユニークな環境学習を実施

#### きしわだ自然資料館 チリメンモンスター実習

ちりめんじゃこに混じる小さな生き物（チリメンモンスター）を探すプログラム。平成16年（2004）の開始以来、多くの子どもたちが生き物の多様性や食生活について学んでいます。



ピンセットなどを使ってエビヤカニ、タコなどのチリメンモンスターをピックアップ

#### 岸和田ファミリー・ロード・プログラム

地元自治会や事業者などが協力し、市が管理する道路の一定区間の継続的な美化・緑化活動を行う事業。現在58地区・52団体が参加。各団体が道路の清掃や植樹・育樹に取り組んでいます。

